

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 羽島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	3.23	98.14	2,320

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,408	53.66	1,274.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,207	0.65	3,395.38

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



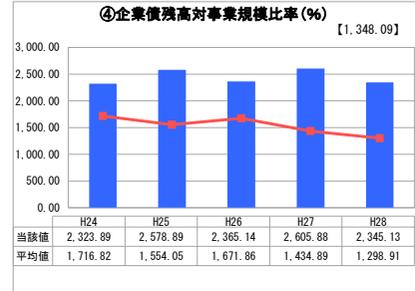
「単年度の収支」



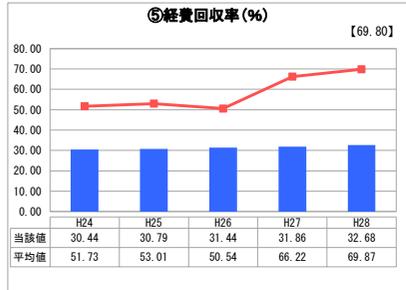
「累積欠損」



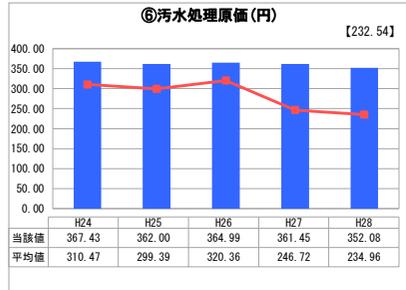
「支払能力」



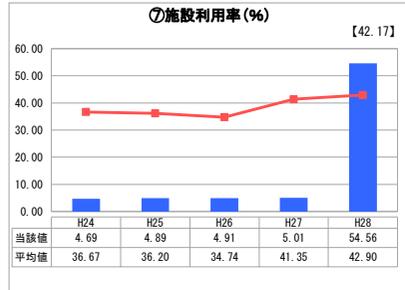
「債務残高」



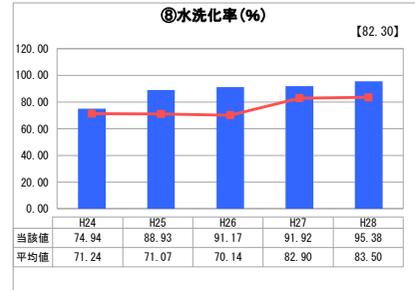
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

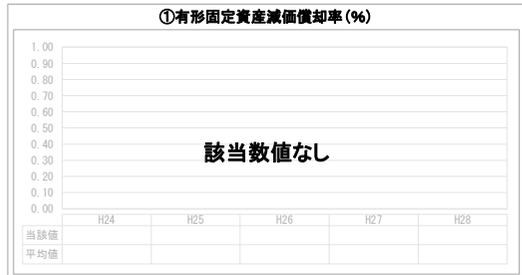


「施設の効率性」

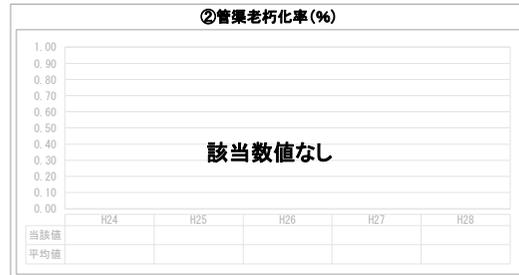


「使用料対象の捕捉」

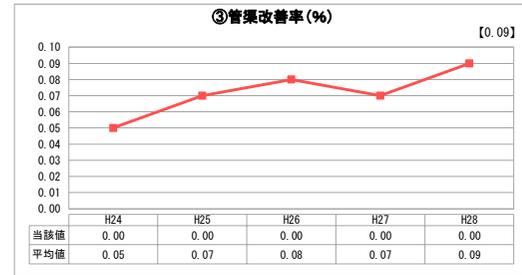
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

【収益的収支比率】
過去からの過度な投資による地方債償還金が経営を圧迫しているため、収益的収支比率が年々下がっている。

【企業債残高対事業規模比率】
過度な投資を抑えることで、年々地方債残高も減少傾向にある。

【経費回収率】
一般会計繰入金に依存している状況である。加入促進を行い、接続率を上げることで経費回収率の改善を図っていく。

【汚水処理原価】
調整区域内の整備であり住宅間の距離が長いことから、整備費が割高となっているため汚水処理原価が高くなっている。

【施設利用率】
整備規模を縮小しているため、当初の計画より過大なスペックとなっているが、今後の整備計画の見直しに伴い、処理場の増設等の見直しも図っていき、施設利用率を向上させる。H24～H27については、突進にそくした数値に訂正し、分析を実施した。訂正値：H24=47.84%、H25=49.92%、H26=50.08%、H27=51.08%。

【水洗化率】
平均値を上回っているが、更なる加入促進を行い、接続率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

【管渠改善率】
供用開始後間もないため、管渠の更新等は行っていない。耐用年数等から、更新時期を推測し、改築等の財源の確保を図っていく必要がある。

全体概括

調整区域内の整備であり、住宅間の距離が長いことから、整備費が割高となっているため、汚水処理原価が高くなっている。過去からの過度な投資による地方債償還金も経営を圧迫している状況で、使用料収入の確保を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。